

授業科目名・形態	健康課題別活動論Ⅱ 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	藤田 碧・下園 美保子	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

歯科口腔保健活動や感染症保健活動の歴史的な保健活動の変遷や動向を踏まえ、各分野の健康課題を理解する。また、保健・医療・福祉の諸施策を理解したうえで、各分野の対象の特性に応じた保健活動の方法を学ぶ。さらに、集団を対象とする健康危機への対応を学ぶ。

【到達目標】

1. 歯科口腔保健活動、感染症保健活動の歴史的変遷、現在の動向や施策を理解できる。
2. 歯科口腔保健、感染症保健の各分野の対象の特性に応じた支援（保健活動）を理解できる。
3. 感染症発生時の健康危機管理を理解できる。

【授業計画・内容】

第1回	歯科口腔保健活動	歯科口腔保健の動向
第2回	歯科口腔保健活動	生涯にわたる歯科口腔保健対策
第3回	感染症保健活動	感染症保健対策の動向と活動の根拠となる法律・制度
第4回	感染症保健活動	感染症予防法による感染症の類型・サーベイランスシステム
第5回	感染症保健活動	結核に対する疾病管理と支援Ⅰ
第6回	感染症保健活動	結核に対する疾病管理と支援Ⅱ
第7回	感染症保健活動	感染症のアウトブレイク時の対応Ⅰ
第8回	感染症保健活動	感染症のアウトブレイク時の対応Ⅱ
第9回	感染症保健活動	新型コロナウイルス感染症に対する疾病管理と支援
第10回	感染症保健活動	新型コロナウイルス感染症に対する疾病管理と支援
第11回	感染症保健活動	麻疹・風疹ウイルス性肝炎に対する疾病管理と支援
第12回	感染症保健活動	食中毒・感染性胃腸炎に対する疾病管理と支援
第13回	感染症保健活動	健康危機管理と感染症対策
第14回	感染症保健活動	感染症発生時の保健活動Ⅰ
第15回	感染症保健活動	感染症発生時の保健活動Ⅱ

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

教科書を読んで講義に臨み、講義後は学修内容を復習する

【主な関連する科目】

「感染と免疫」「公衆衛生学」「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」など公衆衛生看護学の科目

【教科書等】

岡本玲子ほか：公衆衛生看護学テキスト第3巻 公衆衛生看護活動Ⅰ 第2版 医歯薬出版株式会社 2022
厚生統計協会編「国民衛生の動向 2022/2023年」2022年

【参考文献】

厚生労働省：感染症法に基づく結核の接触者健康診断の手引き（改訂第5版），2014

【成績評価方法】

受講態度等（5%）、提出課題（10%）、定期試験の成績（85%）による総合評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

行政保健師の経験を活かし、感染症の予防段階から発症後の社会参加までを見通して個人の感染症時の支援および地域全体での、主にアウトブレイク時の対応について授業を進めていきます。

【学生へのメッセージ】

2年生までの関連科目を復習して、授業に臨みましょう。感染症対策は公衆衛生の歴史と共に確立されてきました。感染症対策の重要性とそれに伴う様々な配慮について再認識することとなったこの数年の社会情勢をみつめなおし、医学的根拠と法令による根拠を連動させる公衆衛生活動について、説明できる力をつけていきましょう。そして感染症対策を入口に、人権と健康を守り合うことの両立を目指す支援について再考しましょう。